

坂本龍一展

昨年、シナジー、創造と生成のあいだのチケットをもらって現代美術館のに続いて、
今年は、坂本龍一 | 音を視る 時を聴くのチケットをもらったので、妻と二人で観覧に。
開館と同時くらいに行けばゆっくり見られるかなー、なんて話して行ってみたら、なんと長蛇の
列 ...

30分弱ほどならんで中に入れた。

中に入ってしまうと、自由に、とは言わないまでも、自分のペースでは楽しめたのでよかったか
な。

「坂本龍一」だったからなのか、展示の終わりの時期だからなのか。

坂本龍一の音楽とそれに合わせた音楽・映像作品がずらっと。

いろいろと効果的な画像とあわせて見せられると、音楽単体よりも、ぐっと魅きよせられて面白
かった。

いわゆる音楽の才能がある人には、音だけでそういう世界が見えているのかなあ。

日常の1コマを音とともに切り出すような数インチのディスプレイ+スピーカの作品も面白かつ
たなあ。

音をいつも意識してるんだらうなあ。

展示の終わりの方には、坂本龍一のメモが残されていて、

そんなメモから音楽作ってるんだなあ、というの、

音楽家っていう人が普段何しているのか全然想像できてなかったの、興味深かった。

メモには自分への問いかけなんかたくさん。

ゴダールしかなかった
ゴダールしかみていなかった
ゴダールしか考えていなかった
ゴダールしか愛していなかった

っていう走り書きなんかも。

参考にした(のか?)本なんかもおいてあって、

- ・ 宇宙のランドスケープ 宇宙の謎にひも理論が答えを出す
- ・ 映像のポエジア - 刻印された時間

は、気になったので、今度読んでみるかなあ。

帰りに、門前仲町まで歩いてタイ料理食べて、

渋谷のタワレコに行って async と 12 を購入。

なんかフェアだそうでポスタもらった。

ちなみに、ずっと波や煙なんかの動きをみていたら、流体シミュレーションやりたくなってきた。